

📷 11月定例会のご案内

「アクションカム、ウェアラブルカメラ活用法」

11月定例会は、「アクションカム、ウェアラブルカメラ、ジンバル」など機動性の高いカメラの活用法です。

「こんな風に使ってるよ！」という体験談や情報をお持ちよりください。

次回定例会は

2021年11月8日（月）19時～21時

勉強会のネタ（募集中です！）

- ・ビデオの事業継承・後継者について（赤岡）
（会員個人の場合とビズネット全体の場合含めて）
- ・ホールを借りて音声収録（菅澤）
- ・ネット配信のやり方（赤岡）
- ・後悔しない機材の選び方（脇田）
- ・ICレコーダーの設定方法（脇田）
- ・スイッチングとパラ撮影（脇田）

👥 9・10月定例会のご報告

「映写会」、「ミニ勉強会」、「近況報告」

9月定例会の参加者

高橋、近藤、吉岡、佐藤、野上、菅澤、上河、脇田

< 9月定例会 >

ZOOM映写会が行われました。

近藤「道德教育の全日本勉強会」

音が出ないトラブルで、次の機会にまわすことになった。

野上「過去のビズネット研修旅行」

やはり音が出ないトラブルで画だけで再生。

高橋「お泊り保育」

日程の調整がつかないため、保育園の先生に撮影してもらったが、かなりいける！

脇田「高校吹奏楽」

3カメのスイッチング撮影で収録。カメラの色合わせが課題に！

菅澤「ピアノ教室」

4年分撮りためたものを、まとめて1枚のメディアにしたもの。良い記念になる！

佐藤「手水場建築」

お寺の手水場を建築している模様を記録。製作&工程が映像だとわかりやすい！

10月定例会の参加者

高橋、近藤、吉岡、野上、佐藤、赤岡、上河、脇田

< 10月定例会 >

近況報告とミニ勉強会が行われました。

ミニ勉強会①「スマホ活用法」（脇田）

- ・インカム…撮影現場でインカム代わりに。
- ・お客様が撮影…メイキング映像で使用。
- ・予備カメラ…オールマイティではないが、軽いし、画質も良くなった。

ミニ勉強会②「ホールでライブ配信」（吉岡）

運動会に引き続き、ホールでのライブ配信。電波が弱い場合を考えて、パソコンとモバイルルータは有線でつなぐことも考え、50mのLANケーブルも用意。トラブルもなく完遂！

以上敬称略 文責：脇田

✍️ 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

吉岡さん「よっしーのお仕事日記」

が続きます！

（文責各筆者）

西湘のビデオ屋稼業

2021.11月 高橋 昌一（含むことあり:個人的、感覚的話し）

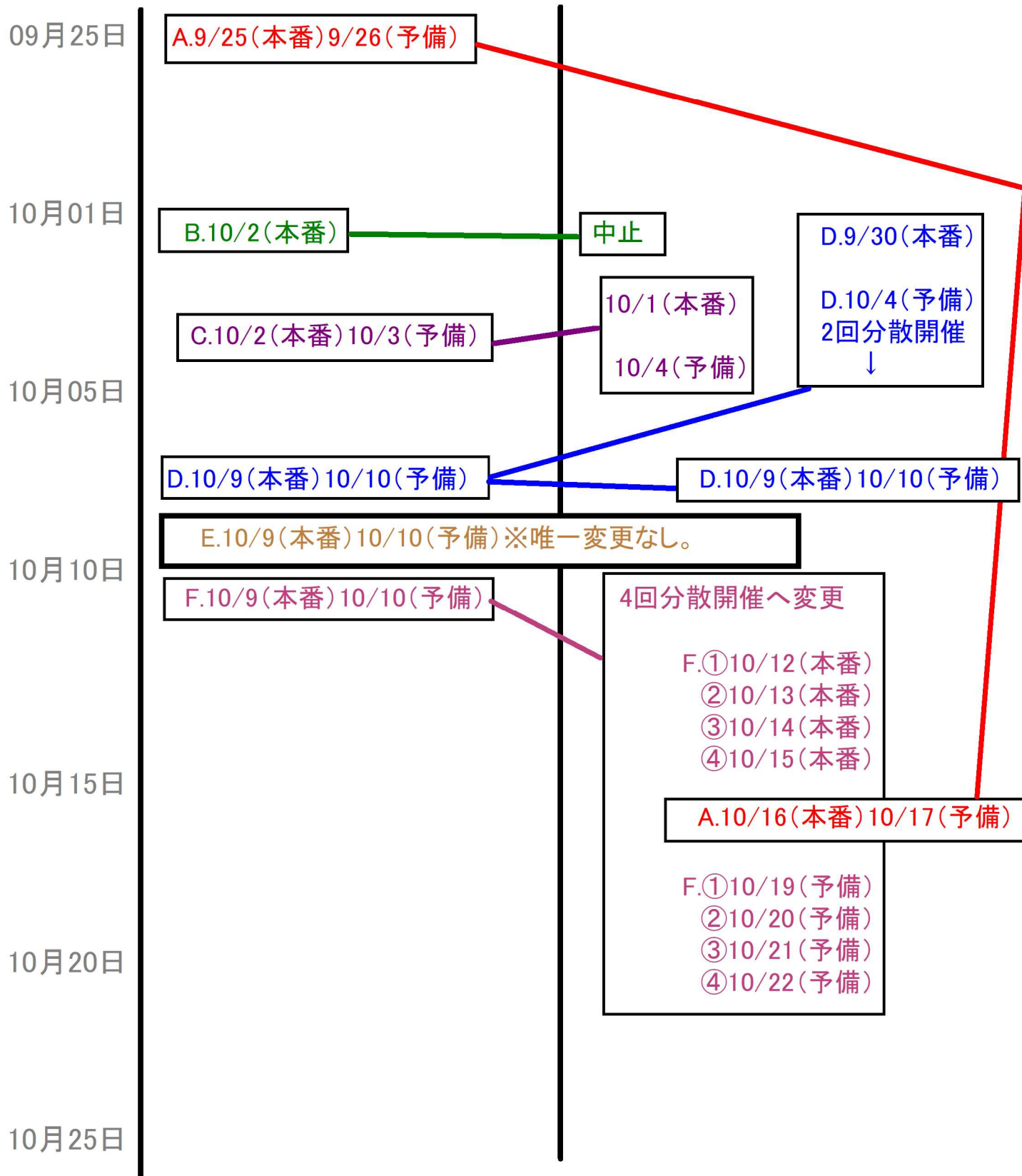
今年の運動会(A～F)の日程変更を一見できるよう整理。(ちょっと憂さ晴らしも)

今年の傾向メモ(ここまでの変更は初めての体験)

- 変更前後にかかわらず、今年は時間等や内容等の詳細は直前まで決まらず。
- 担当者との打ち合わせ日程も、こちらから決めにいかないとなかなか決まらない。
- 総練習は一か所を除いてすべて中止。(時間が足りないとの事)
- 変更後の日程は予備日も含めてカメラマンやり繰り発生。まあそれも楽しめということか。
(ビズネットの皆さんにはお世話になっております。)
- とにかく、ビデオ業者も大変でしたがお客さんも大変でした。本当にみんなでがんばりました。

変更前

変更後



よっしーのお手伝い日記 (15)

お仕事

アソシネット株式会社 吉岡

2021 年 10 月 28 日

ネット配信の話。

コロナ禍、ネット配信のお話が多くありました。実際に行なうかどうかは別にして、だいたいの現場でネット配信がセットのような感じだった。コロナが収束してきて、今後はどうなるのか。

コロナが収束してきたら、確実にネット配信の話は少なくなるでしょうね。普通にイベントができるのに わざわざお金を使ってまで……、と思います。

さみしいとは思いつつも、でも、自分はシステムエンジニア(SE)なので、お客さんの夢や野望を実現させるために働くのですよ(笑) コロナが収まり、みんなが幸せになれば、それが最良なのです。

しかしながら、技術は技術。ドローンのように、話としては数は多くないけど、あったら効果が出る場面はあると思いますね。資料を添付しますが、内容は、ほぼ確立していて、いつも同じ構成です。

ビズネットの定例会や勉強会では、何度か説明していますが、個別でもっと詳しく説明してほしいところがありましたら、ご連絡ください。WEB のところはどうするの？とか、お客さんにどう説明すればいいの？とか。

ネット配信をしての所感。

1.

資料の図を見てほしいのですが、ネット配信というと、パソコンまでの映像の部分と、パソコンから先の配信の部分に分かれます。

私のところに来る問い合わせでは、ビデオ屋さんからの流れですと、配信のところがよくわからない。もう一方の SE(システム)からの流れですと、映像のところがよくわからない、となります。知識もですが、使う機材も違うので、これは明確に分かれますね。

なので、ビデオさんは、配信の話になると、SE は映像の話になると、それぞれ尻込みをしてしまったり、アイデアが出ないということで、お客さんからの話を断ってしまうというパターンは多かったんじゃないかと感じました。

そういう時はご相談いただければと思います。デジタルは理屈の世界、だいたい理屈で説明できます。納得できなければ、何度も相談してください。今ですとリモートで打合せもできますしね。

2.

ネット配信というと、雰囲気わかる程度の映像でいいとか、音声も品質が悪いという印象があります。もちろんライブ配信では、BD のような品質での実現は難しい。それでも、できるだけ品質を良くする見極めは必要で。

特に感じたのは、ビデオ屋さんが撮る映像は見ていて楽しいということ。そりゃそうです。普段から、イベントをどう撮れば良いパッケージになるか、ケンケンゴウゴウの議論をしてるんですから。私たちの

撮影は、ネット配信との親和性は高いです。

でも、ネット配信だから引き固定の映像で雰囲気だけ分かればいいのか、音声も質が悪くていいとは、考えたくないですね、ビデオマンの矜持として。

3.

ピアノ音楽会の無観客ライブ配信をした時は、九州の、ピアノの先生の親御さんも見るとか言っていて。パッケージのことは念頭には なかったので、思ってもみなかったのですが、確かに考えてみると、パッケージの中の主役は子供とかの演者で、イベント中の準備とか作業とか、それこそ色々なことを削除して、演者を並べていきますが、ライブ配信中は、先生や関係者が四苦八苦してイベントを作り上げる姿が、パッケージでは削除している部分が、全部全部見られる。

先生の親からすれば、自分の娘が立派に仕事をしている姿が見られるんだなと。それは嬉しいだろうと。ライブ配信が一般的にならなければ、遠くの人にイベントを見てもらえるという発想もなかったかもしれません。パッケージとは異なる価値観が提供できれば、甲斐のある仕事にはなりそうですけどね。

4.

ネット配信では、スマホで視聴する比率は、考えていたよりも ずっと高かったですね。たぶん一般の視聴者は、ほぼほぼスマホで見ていたと思います。小さい画面で見ている。

従来とは違う見せ方というか、撮り方も考えないと、人が小さすぎて 誰なのかわからない、そればかりか、何をしているのかも わからないということになってしまうかもしれません。

なのでカメラは、パッケージ作成とは別の、ネット配信用に用意して撮ってくのがいいのかなと思いますね。

